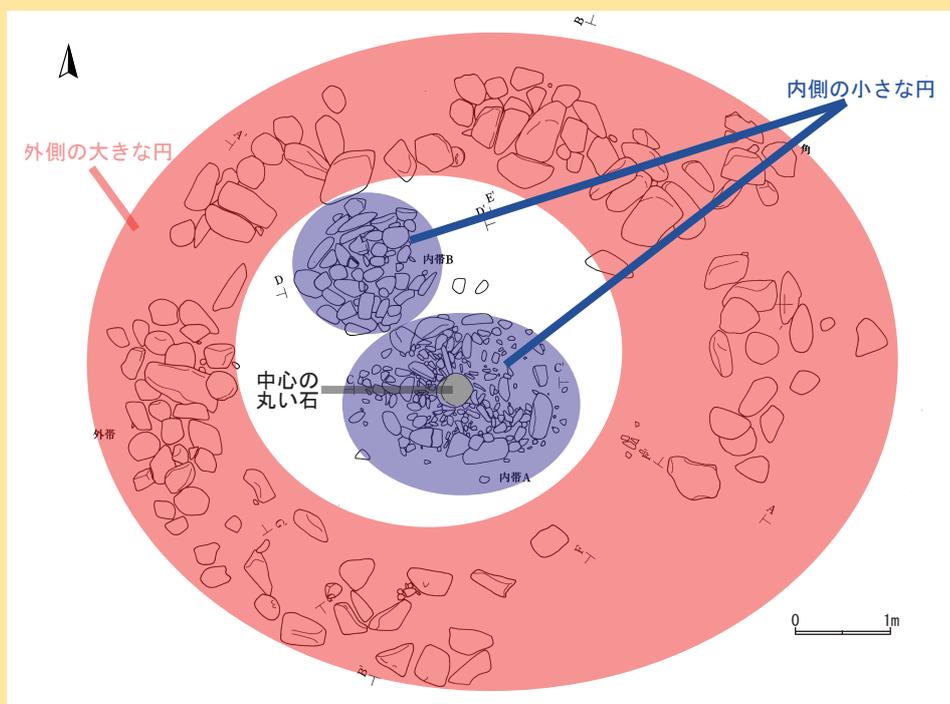


しみずやしき 2 いせき はいせき いこう き  
清水屋敷Ⅱ遺跡の調査では、配石遺構が119基発見されましたが、  
これらは縄文人のマツリや祈りのために作られたものではないかと考  
えられています。

この中でも、「ストーンサークル(環状配石遺構)」は、下の図のよ  
うに直径7mほどの円形に石を敷いたり立てたりして作られたもので  
す。この内側にも直径2mほどの小さなストーンサークルが2つ作ら  
れていて、片方の中心には丸い石が置かれています。



清水屋敷Ⅱ遺跡  
環状配石遺構 AG03  
平面図(平成14年度調査)

このストーンサークルが作られた時代は、遺跡から出土した縄文土  
器を調べた結果、約4,000年前の縄文時代後期の初め頃だと考えられ  
ます。

同じ時代のストーンサークル(住居跡の可能性もあるもの)は、清  
水屋敷Ⅱ遺跡の西側にある安俵6区遺跡でも複数が発見されているの  
で、この一帯は縄文人の神聖な祈りの空間だったかもしれません。